

令和4年度 事業報告書

公益財団法人鍋島報効会

当会は佐賀県下における文化及び教育の振興に資し、かつこれを奨励助成するとともに社会事業に貢献することを目的としており、目的達成のため以下の4つの事業を行った。

公益目的事業

公1 [I] 登録博物館「徴古館」の運営（定款第4条第1項第1号に定める事業）

1) 展示公開事業

a. 企画展

旧佐賀藩主・侯爵鍋島家伝来の当会所蔵資料を紹介する展覧会を下記の通り開催し、うち1回は佐賀市と共催で「佐賀城下ひなまつり」を開催した。徴古館の開館日数は152日間。

① 「鍋島家のお姫さま」展（令和4年6月18日～8月21日／開館56日／入館者数658名）

鍋島家と他家との縁戚関係によって紡がれたご縁について、家紋入りの婚礼調度や姫君自筆の書画、婚礼に関する古文書等の鍋島家伝来資料をもとに紹介した。くずし字の見方を解説したミニリーフレット「くずし字を読んでみよう！」を配布し、館内のみならずSNS上でも好評を得た。来館者アンケートでは「美しい調度品やお姫さまたちの生活を知ることができて良かった」「家系図などで鍋島家の他家とのつながりが分かり面白かった」等の声があり、姫君の手細工や婚礼調度等の美術的な鑑賞、また時代背景や縁戚関係等の歴史的な学習機会の提供を行うことができた。

② 「みんなで選ぶ！鍋島家伝来 きもの総選挙」展

（令和4年9月17日～11月23日／開館57日間／入館者数1,364名）

鍋島家伝来の小袖や袴、能装束などの装束の中から、事前アンケートで出品を望む声が多かったものを中心に出品。各装束を「候補者」に見立て、選挙（人気投票）を行うという形で開催した。館内やweb上に設けた投票所で投票を受け付け、投票総数は898票となった。資料説明キャプションには14代今泉今右衛門氏や佐賀大学生など外部の方々より頂戴したコメントも掲載し、来館者からは「多角的、多面的な視点で作品を見ることができた」「説明のプレートなど共感できるものが多く、また投票に参加でき楽しく観られた」との感想が寄せられるなど、主体的な鑑賞体験を提供することができた。開幕の前日には、当財団役員以外に初めてマスコミや佐賀鍋島伝承遺産顕彰会、他館学芸員、佐賀県庁・佐賀市役所の関係者等を招いた内覧会を開催した（参加者19名）。



③ 鉄道開業150年記念ミニ展示「佐賀藩と蒸気車」展（「きもの総選挙展」と同時期に2階で開催）

明治5年（1872）10月14日の鉄道開業から150年を迎えたことを機に開催した（協力：国立科学博物館 名誉研究員 鈴木一義氏）。蒸気車雛形をはじめ佐賀藩精煉方での科学技術研究の一端を紹介した。徴古館2階を展示室として活用するのは平成30年度の肥前さが幕末維新博覧会以来およそ4年ぶりのことであり、活用にあたり1階および2階展示室に防犯カメラを新設した。

④ 「鍋島家の雛祭り」展（令和5年2月11日～3月21日／開館39日間／入館者数7,768名）

侯爵鍋島家歴代夫人が愛でたおひなさまをご紹介する恒例の展覧会を開催。特集展示では「食」の雛道具にちなみ、鍋島家に伝わる和・洋の食器を紹介した。また、佐賀城本丸歴史館での「第9回 子どもひなの宴」(令和5年2月17日～3月12日)にあわせ、同館内で「150年目の里帰り 鍋島家のひな人形」を開催。これは同館及び佐賀市観光振興課・佐賀市観光協会との連携により実現したもので、佐賀城で飾られていたと考えられる左大臣・右大臣人形のほか、13代夫人紀久子様の次郎左衛門雛、貝桶などを展示した。同館によると会期中の入場者は13,835名。



⑤「佐賀市松原の歴史」展

(令和5年3月18日～3月26日／開館9日間)

NHK佐賀放送局1階ホールにて、佐賀市と当会の主催でパネル展示を開催した。戦国時代から現代に続く佐賀市松原の地域的特性を歴史的に紹介することで、当該地域の普遍的な価値を後世に伝え、今後のまちづくりに活かすことを目的として企画した。9日間の会期のうち土日祝の5日間で358名が訪れ、戦後の松原地域を懐かしむ声や、今後のまちづくりに対する期待が寄せられた。



b. 講演会 「鍋島家のお姫さま」展の会期中にあたる令和4年7月17日に学芸員による関連講座を徴古館で開催したほか、外部からの講師・出演依頼を受け7件の職員派遣を行った。

c. イベント

①ガラス湿板写真の撮影イベント (令和4年11月12日)

湿板写真に関する勉強会(下記「2」調査研究事業)を参照)の成果を活かし、一般向けイベント「昔のカメラで撮影体験!～ガラス湿板写真に写ろう～」を開催。3度開催し県内外の12～50歳の男女計11名が参加した。参加者は、撮影のためのガラス板の研磨や薬品の塗布、被写体として写真に写るなどの工程を体験し、アンケートでは「昔の写真の見方が変わった」、「昔の偉人たちと同じ体験ができて満足」との声が寄せられた。幕末の10代藩主鍋島直正公の肖像写真(安政6年/佐賀県重要文化財)と同じ技法で写るという体験を通じ、歴史資料に対する実践的な理解に繋げることができた。



②能楽体験イベント「みる きく ふれる お殿様も愛したお能」(令和4年11月27日)

佐賀キワニスクラブとの共催で小学生～高校生向けの能楽体験イベントを開催した。子どもと保護者を含めた34名の参加者は、5人の能楽師による舞や演奏を鑑賞したほか、実際に楽器に触れながら学んだ。会場内の展示ケースには、3代藩主鍋島綱茂公の縫箔など鍋島家伝来の能装束や楽器も展示し、視覚・聴覚・触覚で楽しみながら歴史と伝統芸能に触れられる催しとなった。



③第 27 回プレイエル小音楽会（令和 4 年 12 月 24 日）

13 代夫人紀久子様のご結婚調度のピアノ「プレイエル」の音色を楽しむ恒例の小音楽会を開催した。演奏は増井ゆかり氏（佐賀市）。プレイエル社のピアノを愛用したショパンのほか、ヘンデルやリストらの曲で生まれ、演奏者自身によるトークにより、曲や作曲者の理解を深めながら聴く演奏会となった。また開催日（クリスマスイブ）にちなみクリスマスソングのサプライズ演奏もあった。参加者は計 74 名（2 回公演）となり、「最高のクリスマスプレゼントをもらった」「90 年以上も昔のピアノで今もみんなに愛され、大事にされるのは素晴らしい」との声が寄せられた。



④箏の演奏・茶花展示（令和 5 年 2 月 11 日～3 月 21 日／観覧者数 7,604 名）

「鍋島家の雛祭り」展の開催期間中には、2 階ホールにて箏の演奏会や茶花展示など和の文化に親しむイベントを開催し、来館者より好評を得た。

2) 調査研究事業

a. 調査研究活動

①湿板写真に関する勉強会（令和 4 年 6 月 30 日・7 月 1 日）

令和 4 年 6 月 30 日、日本大学芸術学部の高橋則英特任教授を招聘し、当会所蔵の古式カメラ(3 点)に関する調査及び講義を行った。翌日には一般財団法人 戸部記念財団アトリエシャテーニュの猪股良文氏と大野深美氏を招き、別の古式カメラ（鈴木一義氏 所蔵）を用いて実際に湿板写真の撮影体験を行った。この勉強会は当会の収蔵資料に関する知見を地域の財産として広く周知・共有するためのものであり、市内の博物館や文化財関係機関に参加を呼びかけ、参加者は延べ 40 名となった。



②からくり人形に関するイベントおよび勉強会（令和 5 年 2 月 26 日・27 日）

鈴木一義氏（国立科学博物館 名誉研究員）を招聘し、26 日には佐賀城本丸歴史館にて「子どもびなの宴」（佐賀市主催）の一環として、からくり人形の実演・見学会（一般公開）イベントが開催された。27 日には同館にて「からくり ～近代に繋がる江戸の知恵と技、そして好奇心」をテーマに勉強会を開催。勉強会には、県内の博物館および文化財関係機関の職員 28 名が参加した。参加者からは、「今回のように実物を実際に触れられる研究会は、通常の学会等では経験することのない得難い機会」「講師のわかりやすい説明と人形・からくり機器を手にとって体感できたことは感激だった」との感想が寄せられた。

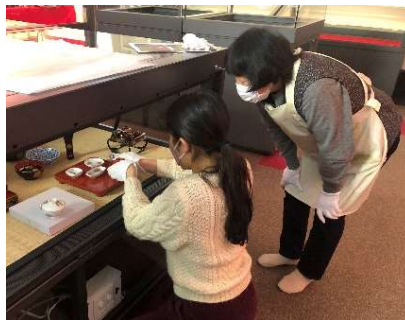


b. 歴史・文化体験活動

①市報さが「鍋島家のお姫さま」 市内各世帯配布の「市報さが」毎月 1 日号にて収蔵資料を紐解きながら鍋島家の女性たちに関する連載「鍋島家のお姫さま」を行った。

②佐賀大学生の参画

前年度に引き続き、展覧会期間中の徴古館の受付・接客、広報作業を佐賀大学生6名とともにいった。「鍋島家の雛祭り」展においては、学生3名に展示設営作業を体験していただいた。参加した学生からは「資料に触ること自体が初めて」、「陶磁器の取扱いは経験があるが、御人形等は初めて」との声もあり、経験の幅を広げる機会を提供することができた。また、本年度は新たに古文書の整理（近代文書のクリーニング、目録採り、中性紙箱への移替えなど）を佐賀大学生1名と一緒にいった。



③「貞姫宛て鍋島直正書簡」の活用 10代鍋島直正公から貞姫に送られた書簡の内容をまとめ、令和2年に出版した『愛娘への手紙—鍋島直正書簡集』について、享受層拡大のため、令和3年度には「市報さが」毎月1日号で12回の連載を行った。令和4年度には、この連載内容を加筆増補し徴古館ホームページ上で展開したほか、小学生・中学生向けに再編集した冊子を計13,000部作成した。冊子は令和4年11月17日の佐賀市校長会にて贈呈し、佐賀市立の小学4～6年の全児童および中学校の全生徒、県内の各学校、公立図書館に配布した。鍋島直正公の人物像に迫る資料として、児童・生徒による地域史学習への活用に資した。



3) 収蔵保存事業

- ①湿度データロガーの導入 徴古館2階を4年ぶりに展示室として活用することを機に、良好な環境維持のため1階・2階展示ケース内の温湿度の推移を記録するデータロガーを導入した。
- ②収蔵庫内の環境調査の実施 令和3年度末に収蔵庫内の環境調査を行い、その結果が4月に報告された。微量の虫および黴が確認されたものの、すぐに燻蒸を要する状態ではなく、収蔵庫の環境としては概ね良好であった。今後も年1回程度の定期的な調査を継続する。
- ③徴古館2階倉庫 倉庫自体と庫内の資料に付く害虫の殺虫・殺卵、カビの殺菌処理を施すため薬剤による燻蒸を実施した。その上で庫内の資料や物品を別棟の収蔵庫や書架など適切な場所に移動し整理作業を行った。
- ④収蔵庫2階の雨漏り補修 収蔵庫2階天井に雨漏りの痕跡とみられるシミが確認され、補修工事を12月20～26日に行った。なお黴等の発生や資料・収蔵庫設備への影響はみられなかった。
- ⑤収蔵品データベースの導入 収蔵品の管理・活用の利便性を高めるため、早稲田システム開発株式会社による台帳システム「I.B.MUSEUM SaaS」の導入を進め、令和5年2月より既存の台帳からの移行作業に着手した。

4) 施設貸与及び保全

- ①公益目的事業の施設貸与(徴古館2階) ・令和4年12月17日～19日 当会収蔵資料の調査および研究発表シンポジウムの打合せ 國學院大學研究開発推進センター。
・令和4年11月29日 市町景観行政担当者研修会 佐賀県まちづくり課
- ②玄関ポーチの補修 徴古館入口のポーチにおいて2階ベランダ部分からの雨漏りが認められたため、令和4年5月23日～6月16日に補修工事を行った。また、雨水がコンクリート躯体に浸透していたことにより、躯体の一部が崩落し、鉄筋が露わになっている箇所が判明したため、躯体の補修及び漆喰による塗装工事も併せて行った。

公1 [Ⅱ] 史跡等の保存事業及び顕彰事業（定款第4条第1項第2号に定める事業）

史跡等の保全のため以下の8件について除草・枝木伐採を実施し訪問者により良い環境を整えた。

1. 鍋島家春日御墓所
2. 十可亭跡公園
3. 高傳寺墓所及び御位牌所（佐賀市史跡）
4. 鍋島直茂誕生地・胞衣塚（佐賀市史跡）
5. 築地反射炉跡記念碑（佐賀市史跡）
6. 万部塔と六地藏（佐賀市史跡）
7. 弘道館記念碑
8. 善応庵墓所



公1 [Ⅲ] 研究助成事業（定款第4条第1項第3号に定める事業）

令和4年度（第22回）は以下の5件を対象に731,409円を助成し研究成果が報告された。研究成果は、令和5年6月4日開催の研究報告会および令和5年度刊行の研究報告書で公開予定。

1. 高田 祐一（奈良文化財研究所）「佐賀藩の巨石採石技術の変遷」 助成額 203,560円
2. 石橋 美里（荒井流鷹匠） 助成額 52,189円
「佐賀藩における鷹狩の文化史的研究 一伝統の継承をめざして一」
3. 酒井田千明（九州国立博物館）「柿右衛門窯の御用注作品について」 助成額 250,000円
4. 佐賀市少年少女発明クラブ 助成額 50,000円
「子どもたちの創造性の開発と、自ら創造する意欲の育成」
5. 佐賀市立鍋島中学校「持続可能な社会を目指して」 助成額 175,660円

令和3年度の助成授与者による成果報告会は令和4年6月19日に佐賀城本丸歴史館で開催した（聴講者：50名）。令和5年度分の募集については、新たにチラシを作成し県内学校や研究機関に配布するなど広報手法を見直し、佐賀市校長会で説明し各学校への周知依頼を行った。その結果、令和5年1月20日の選考委員会により6件が選考された。



公1 [Ⅳ] 一般助成事業（定款第4条第1項第3号及び第4号に定める事業）

令和4年度採択の8件は、いずれも採択団体による活動が実施され報告を受けた。令和5年度分の募集においては、より実効性のある制度とすべく募集要項の一部見直しを行い、経常的経費は対象外となるなど助成対象事業に関する記載を付加した。また、長年にわたる継続助成団体への助成見直しも含め選考委員会における選考基準を明確化した。

1. 佐賀美術協会／佐賀美術協会展「鍋島報効会賞」（4部門）の授与 助成額 80,000円
2. 公益財団法人佐賀育英会／松涛学舎の鍋島文庫図書整備費 助成額 100,000円
3. 佐賀県中学校体育連盟／大会の入賞盾及び優勝旗2本新調費 助成額 260,000円
4. 佐賀自然史研究会／会誌『佐賀自然史研究』発行費補助 助成額 100,000円
5. 一般社団法人佐賀県空手道連盟／ジュニア育成のための強化費補助 助成額 99,270円
6. 佐賀植物友の会／機関誌『佐賀の植物』発行費 助成額 200,000円
7. 松浦党研究連合会／研究誌『松浦党研究』の刊行費補助 助成額 50,000円
8. 佐賀県なぎなた連盟／ジュニア育成のための強化費補助 助成額 50,000円

収益事業

収1 不動産賃貸等に関する事業（定款第4条第1項第5号に定める事業）

1)不動産賃貸

基本財産として保有する土地を活用し、月極駐車場・貸地・貸家の不動産賃貸を行った。松原地区駐車場では、月極駐車場エリアが一般駐車場（タイムパーキング方式の松原公園駐車場）エリアと接続している構造上、一般車両による月極エリアへの誤駐車が多かったため、月極エリア入口への看板設置、地表表示に加え、区画線・契約番号表示の引き直し工事を行うなど整備を進めた。また夜間の安全性確保のため月極エリアに夜間照明を増設した。

駐車場管理は、一部を佐賀市シルバー人材センターに委託して行った。また駐車場管理棟内への雨水の浸入があったことから防水工事を実施した。上記の他、各駐車場において区画線の引き直し、砂利敷き均し、除草・剪定等の環境整備を実施した。

収益事業における主な収入は、下記の通り前年度比 1,379,529 円（2.54%）の増加となった。

	令和4年度	令和3年度	前年度比	
貸地料収入	15,281,120 円 (※)	15,338,040 円(※)	△56,920 円	99.63%
家賃収入	10,944,000 円	9,546,450 円	1,397,550 円	114.64%
駐車料収入	29,384,493 円	29,345,594 円	38,899 円	100.13%
計	55,609,613 円	54,230,084 円	1,379,529 円	102.54%

(※) 公益目的事業にかかる借地料収入は除く。

2)徴古館におけるミュージアムグッズの物品販売

収蔵資料の絵はがき、収蔵資料の意匠を活用した「鍋島小紋柄折り紙」や「一筆箋」などのミュージアムグッズの販売を行った。展示室内に、「みんなで選ぶ！鍋島家伝来 きもの総選挙」展からミュージアムグッズ販売促進のため2台の陳列棚を新設し配置変更を行った。

また「鍋島家の雛祭り」の期間限定商品として前年度より製作・販売している、次郎左衛門雛のイラストの焼印を施したオリジナル丸ぼうろを今年度も製作・販売した。

3)公益目的事業以外の施設貸与

- ・令和4年8月8日 グリコ社員佐賀研修（株）IWNC

4)その他

佐賀市より松原公園の管理委託を受託し、年間を通じて清掃管理を行った。松原公園第2期整備については、事業実現に向けて佐賀市と協力関係を保ち協議を行った。